

黒井城跡に新たな歴史 飛鳥時代の須恵器窯跡発見



窯跡から慎重に須恵器を取り出す調査員

春日町稲塚で飛鳥時代後半（7世紀後半）の須恵器（陶質土器）窯跡「稲塚窯跡」が見つかりました。窯跡は国史跡「黒井城跡」内の約30度の急斜面に造られた小規模な登り窯で、長さ約2.1m、幅1.1m。今回発掘されたのは登り窯のごく一部分です。

窯跡からは、灰色で硬質の須恵器も見つかっており、出土した器の形から、飛鳥時代後半に操業していたと推測されます。市内で窯跡の発見例は少なく、当時の状況をうかがえる貴重な発見となりました。写真提供 / 兵庫県立考古博物館



看護学習を体験する参加者たち

看護学習を体験 看護専門学校オープンキャンパス開催

8月4日・5日に市立看護専門学校でオープンキャンパスが行われ、看護に関心のある高校生を中心に約160人が参加しました。

参加者は4つのグループに分かれて校内を見学。妊婦体験や新生児抱っこ、老化体験、手洗いなどの看護学習を受けました。

参加者は在學生と学校生活の紹介や受験対策などの相談を通じて、なごやかに交流を図りました。

日本から会いに行くよ 東小学校児童がオーストラリアへ

東小学校の児童5・6年生の16人が、8月1日から10日までの10日間、オーストラリアのオークリーサウス小学校（メルボルン）に短期留学することを市長に報告しました。

両校は3年前からインターネットを利用した遠隔授業で交流しており、今年初めて留学することが決まりました。児童は「英語を使って、友だちをつくりたい。たくさん話して、日本との文化の違いを学びたい」と目を輝かせていました。



短期留学前に抱負を語ってくれた児童たち

市島でバンドフェスタ アツイ！真夏のバントの競演

7月17日、ライフピアいちじまでバンドフェスタが開催されました。中学生からベテランバンドマンまで、幅広い年代の14組が出演し、スポットライトを浴びながら演奏しました。

このバンドフェスタの特色は、参加するバンド自らが演出方法を考えるところです。出演者は「プロのバンドも演奏するホールで発表できてうれしい。自分で演出も考えられるので、とても盛り上がる」と話しました。



マイドラムを華麗に叩く、特別出演者



ケント市・オーバン市・丹波市の交換留学生たち

日本文化を体験 アメリカ ケント市・オーバン市から 交換留学生が訪れました

7月31日から8月8日までの9日間、丹波市と友好関係にあるアメリカ合衆国ワシントン州のケント市・オーバン市から2人の交換留学生が訪れました。ホームステイや柏原高校での茶道体験などを通じて日本文化への理解を深めました。

8月12日からは丹波市の中高校生5人が交換留学生としてケント市・オーバン市を訪問し、地元の人たちと交流を深めます。



丹波竜の発見時のようすについて説明を受ける中学生たち

丹波竜に夢中！ キョンサンナムドコソングン 韓国慶尚南道固城郡から中学生が来丹

7月28日、恐竜について学ぶため、韓国慶尚南道固城郡から中学生17人が丹波市を訪れました。固城郡では恐竜の足跡の化石が発見されており、より恐竜について知識を深めようとちーたんの館などを見学しました。

ちーたんの館に設置されている丹波竜の全身骨格を見た中学生は「とても大きい。これだけ大きな丹波竜が住んでいた頃、周囲の環境がどうなっていたのか気になる」と興味がつきないようすでした。

20回記念大会で快学 神戸弘陵学園高校 初優勝！

7月28日から8月3日の7日間、スポーツピアいちじまで「第20回記念全国高等学校女子硬式野球選手権大会」が行われ、過去最多の24チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

大会を制したのは、神戸弘陵学園高校（兵庫県）。準決勝で18回大会優勝校の福知山成美高校に無失点で勝利すると、決勝でも最多優勝校の神村学園高等部（鹿児島県）に対して許したのわずかに1点。見事なプレーで初優勝を飾りました。



バットを振り切り、全力プレーで決勝に臨む女子高校球児たち

氷上高校女子バレーボール部快学！ 近畿高等学校バレーボール大会準優勝

氷上高校女子バレーボール部が、7月21日の近畿大会（奈良県）、8月4日からのインターハイ（山口県）に兵庫県を代表して出場しました。

7月21日の近畿大会では強豪を破り、準優勝という輝かしい成績を収めました。8月4日からのインターハイでは、予選リーグを突破して決勝リーグに進出。ベスト16決定戦にて、下北沢成徳（東京都）と対戦し、おしくも敗退しましたが、今後もますますの活躍が期待されます。



力強く大会での活躍を誓った主将の坂実莉さん